

地域を盛り上げるといふ目的で活動する団体は複数存在する  
そのような団体の一つである「日吉一希を起こす会」  
その副会長に日吉に対する思いを聞いた

林 健二 Hayashi Kenji  
日吉一希を起こす会副会長

## 元気を与えられる存在でありたい

私たち「日吉一希を起こす会」は、平成2年に

結成して以来、地域の活性化を目的に活動しています。会員は21人と、決して大きい団体ではありませんが、各種行事などで出店を出したり、子どもたちに自然体験をさせるイベントを開催したりして、地域に元気を与えられるよう会員みなで協力しながら頑張っています。

また、毎月定例会を開いて、これからの活動や今までの反省会なども行

い、常に向上心を持って

います。現在日吉地区は少子高齢化が進み、若者が少ないという現状です。しかし私たちはそれを右肩下りの考え方ではなく、私たちの活動で、地域を元気にしたい、活気付けたいという思いがあります。

今後は、新たなことにも挑戦をして、日吉にもっともともと「元気を与えられる存在」になれるよう活動を続けていきたいと思っています。



はやし けんじ  
上鍵山・自営業・43歳  
平成14年に兵庫県からUターン。帰郷後、誘いを受け入会。本年度から副会長を務めている



武左衛門ふるさと祭りの盆踊り  
「一希を起こす会」が主体となって進行などを取り仕切った武左衛門ふるさと祭りの盆踊り。子どもからお年寄り、そして帰省客ら、全ての人が参加した。踊りの最中は常に笑顔が絶えず、全ての人が盆のひとつときを楽しんだ

武左衛門の法事を行うことを禁じました。そこで農民たちは、亥の子唄、子守唄、盆踊りや念仏などに巧みにおりこんで供養を続けました。

そのような、武左衛門供養の行事は今もなお続けられています。

それを代表する行事が「武左衛門ふるさと祭り」。

毎年、盆に行われているこの祭りは、地元の人はもちろん、現在は日吉に住んでいない出身者なども帰省し、多くの人で盛り上がります。この祭りの中で司会を務めていた住民が、豪快な打ち上げ花火が終わると次のようなことを言いました。  
「今年の花火は皆さまのご寄付だけで打ち上げられました。いかがでしたか。私たちの祭りは私たち自身の手で作り上げていかなければ

なりません。一人一人が何かの形で祭りに携わっていただき、元気な日吉をみんなで盛り上げていきましょう」

まさに、武左衛門精神と言えます。

そして、そのような活動は地域活性化だけにとどまりません。  
▼地域の安全安心な暮らしのための防災活動▼豊かな自然を守る環境美化活動▼子どもたちに昔の生活の知恵などを教え、体験をさせる活動▼お年寄りを支える奉仕活動。さまざまに分野で尽力している人が多く存在します。

これら全ての原点は、先人の偉人が残した「郷土愛の精神」。この精神は、これから住民の心の中でずっと生き続け、受け継がれることでしょう。

ひとりみんなのために  
みんなはひとりのために  
そして、日吉のために